

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	国立保健医療科学院運営経費			<b>担当部局庁</b>	国立保健医療科学院			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成14年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務部会計課			川又 功	
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>主要政策・施策</b>	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			<b>主要経費</b>	文教及び科学振興				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立保健医療科学院の調査研究事業を円滑に実施するための事務等を行うことを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	以下の事業を行う。 研究調査の実施 年報作成 研究倫理審査委員会を開催 特殊施設(機器分析室)の管理運営 廃棄物の処理								
<b>実施方法</b>	直接実施								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	5	4	4	4	0		
	執行額	5	4	4					
	執行率(%)		100%	100%	100%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	外部委員による研究課題評価(毎年実施)で3.5点以上を目標とする。	研究課題評価の総合点	成果実績	点	4.1	4	集計中	-	-
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	-	3.5
			達成度	%	117	114		-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	研究倫理審査委員会における審査件数(書面審査含む)	活動実績	件	23	30	22	-		
		当初見込み	件	20	20	20	20		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	年報作成部数	活動実績	部	1,500	1,500	1,250	-		
		当初見込み	部	1,500	1,500	1,500	1,250		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X:研究倫理審査委員会出席謝金+研究倫理審査委員会出席旅費+研究倫理審査委員会迅速審査(書面審査)謝金/Y:開催回数	単位当たりコスト	円	27,474	30,565	30,423	28,000		
		計算式	X/Y	631,900円/23件	916,954円/30件	669,300円/22件	560,000/20件		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X:年報作成費用/Y:作成部数	単位当たりコスト	円	267	217	272	226		
		計算式	X/Y	399,840円/1,500部	325,475円/1,500部	340,200円/1,250部	282,750円/1,250部		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X:廃棄物処理費用/Y:職員数	単位当たりコスト	円	18,133	16,561	14,250	10,500		
		計算式	X/Y	2,502,338円/138人	2,351,796円/142人	2,137,635円/150人	1,554,000円/148人		

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	庁費	2		
	職員旅費	1		
	諸謝金	1		
	計	4	0	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること								
	施策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること(施策目標X I-1-1)								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 30年度	目標年度 31年度	
		国立保健医療科学院における研究課題評価(毎年度実施) ※総合評点は5点満点で、3点で「良好」の評価	実績値	点	4.1	4	集計中	-	-	
			目標値	平均3.5点以上	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	①研究調査の実施 ②年報作成 ③研究倫理審査委員会を開催 ④特殊施設(機器分析室)の管理運営 ⑤廃棄物の処理を行う。 このように、経費の適正な執行に努めることで、国立保健医療科学院の効率的な運営に資するもの。									
	改革項目 経済・財政再生 アクション・プログラム	分野:	-	-						
		KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										

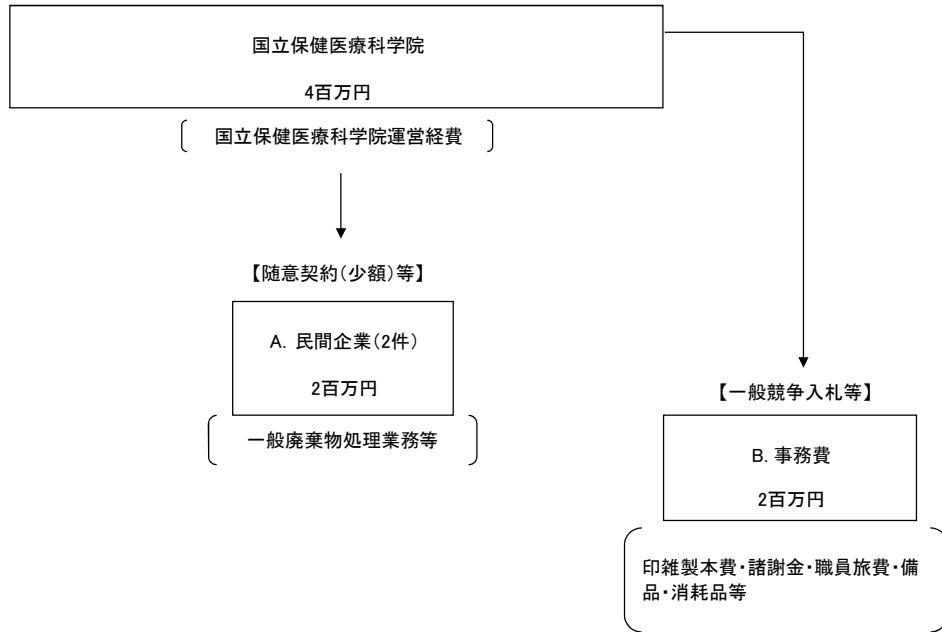
事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国立保健医療科学院の運営に関する経費のため必要な事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国立保健医療科学院の運営にかかる経費のため他に委ねることは出来ない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	科学院の調査研究に必要な経費であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	今回、一般廃棄物処理業務については一者応札となったが、次回の調達の際には、応札条件の見直しを検討するなど、競争性が確保されるようにしたい。その他については、一般競争入札を実施して競争性を確保し、個々の契約が100万円未満のものについては少額随意契約とした。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	概ね妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。
利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	廃棄物の排出量の削減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		成果実績については現在集計中である。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	送付先を再選定したため、年報の作成部数は見込みを下回った。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○		国立保健医療科学院における調査研究事業に関する経費という点で国立保健医療科学院基盤的研究費と類似しているが、それぞれ適切な役割分担となっている。 847: 調査研究事業に密接に係る事務費 849: 調査研究事業  また、他機関もそれぞれの試験研究所において、調査研究事業を円滑に実施するための事務等を行うことを目的とする
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省・国立保健医療科学院	849	国立保健医療科学院基盤的研究費		
	厚生労働省・国立社会保障・人口問題研究所	851	国立社会保障・人口問題研究所運営経費		
	厚生労働省・国立感染症研究所	859	国立感染症研究所運営経費		
点検・改善結果	点検結果	年報の発行部数については、送付先を再選定し、部数の削減(▲250部)を行った。また、印刷業者の決定については、競争入札を行うことによりコストの削減に努めている。 廃棄物の処理については、昨年度に比べて単位あたりのコスト削減がなされたが、一般廃棄物処理業務については調達の際に一者応札となった。			
	改善の方向性	今後も、国立保健医療科学院の運営のために必要な支出について見直しを行い、経費削減に努めるとともに、調達の際に一者応札となった案件に関しては、応札条件の見直しを検討するなど、より競争性の確保を図っていくこととしたい。			
<b>外部有識者の所見</b>					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成22年度	597	平成23年度	544	平成24年度	483
平成25年度	867	平成26年度	867	平成27年度	878

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社環境テコム			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	産業廃棄物の収集運搬・処分業務(プラスチック)	0.4		100万円以上の支出無し	
雑役務	産業廃棄物の収集運搬・処分業務(感染性)	0.3			
雑役務	産業廃棄物の収集運搬・処分業務(廃液)	0.2			
雑役務	フロンガス改修破壊処理業務	0.1			
雑役務	産業廃棄物の収集運搬・処分業務(薬品)	0.1			
雑役務	家電リサイクル	0			
計		1.1	計		0

**支出先上位10者リスト**

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社環境テコム	8011401011189	産業廃棄物の収集運搬・処分業務(プラスチック)	0.4	随意契約(少額)	-	100%	-
2	株式会社環境テコム	8011401011189	産業廃棄物の収集運搬・処分業務(感染性)	0.3	随意契約(少額)	-	100%	-
3	株式会社環境テコム	8011401011189	産業廃棄物の収集運搬・処分業務(廃液)	0.2	随意契約(少額)	-	100%	-
4	株式会社環境テコム	8011401011189	フロンガス改修破壊処理業務	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
5	株式会社環境テコム	8011401011189	産業廃棄物の収集運搬・処分業務(薬品)	0.1	随意契約(少額)	-	100%	-
6	株式会社環境テコム	8011401011189	家電リサイクル	0	随意契約(少額)	-	100%	-
7	日本興業株式会社	6030001046802	一般廃棄物処理業務	1	一般競争入札	1	92.3%	-
8	株式会社リバー	1011401012350	感染性廃棄物処理	0	随意契約(少額)	-	100%	-

